



里だより

No.408

令和8年1月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



二〇二六年のカレンダーも無事に完成しました。
新しい年が素晴らしい一年になりますように
心よりお祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

一月号もくじ

(ページ)

施設長より.....1

相談より.....2

主任より.....3

職員より・調理場より・

サービス向上委員会より.....4

行事報告.....5

行事予定・

ありがとうございました・

編集後記.....7

つくしの里 ホームページ

<https://tsukushinosato.or.jp>



施設長より

抱き背負う

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年もより一層の努力を重ねてまいる所存です。何卒変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



新年を迎えるとよく耳にする「今年の抱負」。この抱負とは、何か目標を達成するときの表明に用いられます。抱負とは、抱き背負うので、何かしら強い意志が込められる言葉のようです。達成するための計画は、より具体的であればあるほど達成しやすくなると聞きます。昨年は念願の他施設見学をすることができました。入職当時は、職員研修の一環だった施設見学がありましたが、利用者さんの高齢化や制度の変遷に伴い、次第にできなくなっていました。いくつかの親交のある施設さんに見学をお願いをしていたものの、まさかのコロナ禍へ突入。よその施設にお邪魔するなんてとんでもない状態に。コロナが明けて、ようやく実現できました。快く受け入れていただいた施設さんには感謝です。今回は、建て替えが済んだ施設さんにサビ管以上でお伺いしました。出来れば、いつかは全職員がどこかの施設見学が実現できればと思っています。

初代施設長が「新しい施設を見学して、新しいことに感心しても意味がない。それは当然のこと。必要なのは、どのようなアイデアや工夫をされているかを知ること。また、その工夫に気付く

事。その工夫が、つくしの里でも取り入れられるかが重要」と言われていたことを思い出しました。先月書いた「発想は移動距離に比例する」に通ずるのかもしれない。また、大手電機メーカー創業者の『まず汗を出せ。汗のなかから知恵を出せ…。』をよく言われていました。そこに身を置いてみなければ、不具合に気付けなかったり、解決策を見出せないというものでした。

話を元に戻すと、成し遂げようとするには、今の自分ではなく、自分自身も何かしら変わる。変えて取り組むことになります。他人に何かをしてもらおう。他人事スタンスでは何も変わらないし、自分の未熟さを人や周囲のせいにしてしまいがちになります。これは利用者支援をする際にも大いに役立ちます。利用者さんの行動を変えようではなく、こちらのアプローチでどのような変化があったかの視点が大事になってきます。心掛けなければならないことの一つです。

昨年、一人の利用者さんから、「日本一の石段に上りたい」とのニーズががありました。歩行器を使いながらも、目標に向かって歩く練習をされています。普段は不愛想は感じですが、練習の際に目標について話をする、心なしか表情がほころびます。きついと分かっていられるけれどもチャレンジしたいとのこと。これも『抱負』『自分を変える』なのでしょう。その姿勢を見ると応援したくなると同時に、こちらにも負けられないと元気をもらっています。

今年は午年・丙午。勢いが高まる干支らしいです。『抱負』を掲げ、進める一年にしたいと思います。

施設長 松永 一博

相談より

障害支援区分について



今回は障害支援区分に焦点を当てたいと思います。区分は一～六の六段階。障害の程度ごとに一が軽度、六が最重度です。つくしの里の利用者の大半は区分五、六の方が占めており、重度化、高齢化が進んでいることを表しています。体調や身体状況、精神面など、いろいろな変化がありますので、この区分は三年に一回見直しがあります。今年に入所者の方の殆どが区分更新の年であり、各市町村から調査員が訪問され、ご本人との面会や職員に聴き取りをされます。実際にこの三年間で歩行が困難になり、歩行器や車椅子を使用するようになった方、認知面が低下し、今までできていたことが難しくなってきた方、入院の頻度が増えた方など、さまざまな変化を目にしています。

しかし、今年は区分六の方が五に変更になるケースが多くありました。通常はご本人の身体状況などが改善し、支援の度合いが少なくなつた場合に区分の数字が下がることがあります。今回は年齢を重ねて支援の度合いが高まっている方や精神的な不安定さがあり、日々職員も試行錯誤している方も区分が下がることがありました。調査員が聴き取りや面会をして、コンピューターでの一次判定があります。その後、二次判定として医師の意見書も参考に市町村の審査会に諮られ、区分が決定します。区分が下がるとどうなるのか。お金の話をするところですが、区分が高い方を支援すると報酬額も大きくなります。身体状況の改善やご自身の成長で、区分が変更になったのであれば、とても喜ばしいこと

ですし、支援者にとっても達成感のある話です。しかし、ご本人の状態が変わらない、もしくは以前より支援が難しい状態になつて、区分が下がった場合、今までと同じように支援をしても報酬額は下がることになります。一番矛盾を感じるのは、私たちが一生懸命支援をして、落ち着いて過ごせるようになった場合も区分は下がる場合があります。支援があつてご本人が穏やかに過ごせている、生活が成り立っているという部分を汲み取ってもらいたいという想いがあります。また、よくあるケースは児童から成人になる時です。初めて区分が出されるのですが、支援がとても難しい方の区分が四や五だった場合、多くの支援を要する割に報酬が低いことになり、受け入れ先が見つかりにくくなります。これはご本人にとって不利益になります。そうすると、ほぼ行き先の選択肢はなくなり、受け入れてくれる事業所を選ぶしかありません。そうならない為にも利用者の方の事態を正しく把握し、正しく伝えることが重要だと感じます。そして、コンピューター判定だけを重視した浅い区分調査にはなつてほしくないと思います。別の視点では、支援に携わる者として考慮する点は、それだけの報酬を頂いていることです。区分がいくつであれ、お金が動いている分の支援を個人個人に還元しなくてはけません。やるべきこと、配慮すべきことはありますが、利用者一人一人に満足して頂ける支援をする必要があります。その為には職員個人の意識も高め、同じ視点で同じ支援ができるようにしなければなりません。毎年満足度調査を実施していますが、皆さんの声を支援の充実、質の向上に繋げたいと思います。ご家族も含め、忌憚のない率直なご意見、ご要望をお待ちしております。

相談支援専門員 井上 真次

主任より

感染症対策をしつかりと



十二月に入り、街はイルミネーションに彩られ、クリスマスグッズとお正月飾りが店頭に並んでいます。「主任より」を書いているこの時期もクリスマスやもちつき等のイベントが盛りだくさんです。それを過ぎると「大掃除はどうしよう?」「年越しそばやおせちの準備はどうする?」「実家にはいつ行こうか?」と慌たたくもどこかワクワクする師走です。

しかし、今年の山中家は少し様子が違います。我が家の長男が高校入試を控え、毎日のように塾通い、帰ってからも見直しを行っているのか、鉛筆を紙に走らせる音が聞こえてきます。親としてはあまり無理しないで欲しい気持ちと本人が望む高校に受かって欲しい思いが交錯しています。親に出来る事は本当に少なく勉強を教える事も出来ず、本人のペースが崩れないように見守っていくことです。ただ、一つだけ大事な役割があるとするならば「ウイルスを家に持ち込まない事」。感染症対策を行う事です。

現時点でもインフルエンザが流行しています。外から帰れば家族全員の手洗い・喉うがいを行い、加湿器をつけ、年末年始の帰省や集まりも今年はやはり遠慮させてもらいました。少し気にしすぎかもしれませんが、本人の努力が無になる事は避けたい親心です。実際に意識して取り組んでみると、とても大事な事だと改めて思いました。意外と忘れがちになる手洗い・うがいをお互いに声掛けあい、周囲で感染症が流行してないかアンテナを張り、家だけではなく周囲の人にもうつさない、広げないを心がける事

で家でも職場でも仲間内でも安心して過ごせる環境になるのだと考えました。

春満開の桜の下で、息子と一緒に心から笑える日を迎えられるよう「健康第一」で頑張りたいと思います。

結びに変えて、二〇二五年の漢字は「熊」でした。山中家恒例の漢字当てはできませんでしたが、皆様は一年を振り返りどのような漢字を思い浮かべますか?願わくはポジティブなイメージの漢字を思い浮かべるような一年でありたいです。

二〇二五年、お世話になりました。ありがとうございました。良いお年をお過ごしください。そして二〇二六年もまた、宜しく願いいたします。

主任支援員 山中真史

施設 PR 委員会 今月の1枚!

Aquarium



マリンワールドに
行ってきました!



職員より



＼2026年



本格的に寒くなり、温泉に入りたいな～と考えていたら、いつの間にか年末を迎えようとしています。年末という事で、私も今年1年間の出来事を振り返っていますが、特に衝撃的なニュースはなく、のんびりと私生活を過ごしたり、時には忙しかったりと、代わり映えはありませんが、何事もなく無事に過ごせた1年間で良かったと思っています。

私は趣味でテニスをしています、寒いのが苦手な運動する機会が減りつつあるので、他の趣味を見つける事に専念しています。最近私がはまっている事は温泉に行く事です。その中でもサウナが好きで、大分県へ温泉巡りにも行きました。温泉に入った後はとにかくご飯が美味しく感じて、夜もぐっすり眠れるようになった気がします。そのまま食べて寝るだけの生活にならないように、仕事、運動も継続して頑張りたいと思います。

(支援員 八木)

調理場より



秋には熊のニュースを連日耳にしました。動物好きの私は10月、20年振りに熊本市動植物園に行ってきました。目的は12月8日(月)、釧路に引っ越しが決まったホッキョクグマ「マルル」に会うためです。札幌市円山動物園から熊本にやって来たときから会いたいと思っていました。小さかったマルルもとても大きくなり、優しい笑顔で元気にリンゴや白菜を食べていました。北海道でも、いつまでも健康で元気に過ごしてほしいです。

熊本市動植物園は、「サバンナエリア整備中」でマサイキリンやアフリカゾウは見る事ができませんでした。ライオン、トラ、ヒグマ、カバにサイ、たくさんの動物を間近で見ってきました、利用者さんも、動物がお好きな方がいらっしゃいます。春になり温かくなったら次回は、利用者さんと一緒に行きたいと思いました。

(管理栄養士 奈須)



サービス向上委員会より

■事故防止【支援員 北島・村上マ・尾崎カ・瀬形・後藤シ】



毎月各班のケース会議で利用者さんの事故について話しを行っています。今月は「〇〇さんの転倒が多かったです。誘導時注意しましょう」「〇〇さんの調子があまり良くなく、不安定な事で事故がありました。距離調整や前向きになれるような声掛けをしましょう」など事故に関する内容の話、予防策などの話をしています。今年度は「昨年度よりも事故を減らそう!」を目標に頑張っています。利用者さん、ご家族、職員みんなが安心して生活ができるよう事故防止委員会のメンバーを中心に、職員一丸で頑張っていきます。

行事報告 ※ 11/21（金）～12/20（土）の実施分について報告いたします

★やさしさいっぱいコンサート【11月23日（日）大津町生涯学習センター文化ホール】

毎年、楽しみにしている保護者会主催のコンサートですが、今年は大津少年少女合唱団の歌声を鑑賞しました。「ふるさと」と「手のひらを太陽に」では、利用者さんも一緒に歌いながら踊られていました。

また、初めて生で見るミュージカル「メリーポピンズ」は目を輝かせながら、リズムに合わせて手拍子をしたり、思い思いに音楽を楽しまれていました。帰園後に「アンパンパンのマーチ」を口ずさみ余韻を楽しむ利用者さんもおられました。（支援員 外山）



★生活介護班④班 A グループ外出【11月27日（木）福岡県マリンワールド海の中道】

利用者さんからの「一泊旅行をしたい」という希望に近い遠出の日帰り旅行を行いました。当日は長時間の移動に疲れもあったかと思いますが、「楽しかった！」という声が沢山上がりました。

昼食は、食べたい物を選び自分で食券を購入し、普段食べないハンバーガーやポテト、ナイフやフォークを使うメニューもありました。席は事前に予約をせずに他のお客さんと同じように順番を待って席につきました。これも経験の一つだと思います。特にレストランでは経験値の差が見え、若い頃から様々な経験をして社会性を身に付けることの必要性を改めて感じました。

イルカ・アシカのショーは、座席が空いていなかったこともあり、後方の立見席から観ましたが、皆さん楽しまれていました。他にも館内を観て回ったりご家族と自分のお土産を購入したり、食事・水族館・お土産とを重ねて楽しめました。

今回大切にしたことは、可能な限り利用者さんの意向に沿って楽しめる内容であること、事前の説明（できる限り分かりやすく）、実施後の感想を含めた振り返りを一緒に行うことです。自分が携わった行事において、これらを丁寧にできていたかなと意思決定支援を学ぶ中で振り返り反省し、過程を丁寧に行うこと、どの利用者さんともしっかりとやりとりすることを意識しました。（主任支援員 中尾）



★令和7年度熊本県知的障がい者施設協会福祉大会【12月3日（水）熊本県立劇場】

社会参加の一環として、利用者さん13名と職員4名で参加しました。初めに作品などの表彰があり、ステージに映し出された作品と表彰される他施設の利用者さんを見て、作品一つでもいろんな表現がされており、表彰されている利用者さんはとても誇らしげに発表されていました。その後の天草サーカスのショーでは、トランプや花が出るステッキマジックを披露され、バトンを使いステージいっぱい駆け回るパフォーマーのショーを楽しみました。NOSAN オールスターズのバンドでは流行りの歌やオリジナル曲を交えながら演奏され、ステージで一緒に歌ったりして楽しみました。また、ステージに上がって他の事業所の利用者さんとふれあいました。普段見られない笑顔と楽しむ様子を見ることができました。ステージに上がられなかった利用者さんも音楽に合わせて手を振り、楽しみました。大きな風船のようなボールが飛んできて会場全体でつなぎ、参加した全員が楽しめる大会でした。（支援員 村上り）



★もちつき大会【12月9日（火）つくしの里】

今年度の餅つき大会は、例年と異なり、12月の初めに開催致しました。当日は晴天にも恵まれ、御家族が30名と大津北小学校の生徒・先生合わせて30名を超える方が来園され、大変盛り上がりしました。また、小学生は餅つきだけでなく、餅丸めまで体験していただきました。

先月号の秋の里まつりでの感想にも書かせて頂きましたが、つくしの里で行事を行う際には、御家族の協力も必要になってきます。今回の餅つきでも、たくさんご教示頂く場面がありました。今回の反省点などを生かして、次年度へ繋げていきます。（支援員 井）



行事予定



☆ 参拝・新年会（日吉神社・つくしの里）

期 日：1月5日（月）

内 容：つくしの里の今年1年の安全と利用者さん・職員の健康を祈願します。

お昼は新年会メニューで豪華な料理をいただきます！



☆ 生活介護班⑤班イベント（つくしの里・ゆめタウン光の森）

期 日：1月22日（木）

内 容：お弁当をテイクアウトしてつくしの里で新年会をします。

その後、ゆめタウン光の森に買い物に出かけます♪



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和七年十一月二十一日～

令和七年十二月二十日です



【寄付・寄贈】

・ 鮑田 一夫 様	・ 浅山 愛郎 様
・ 井本 チカ子 様	・ 内田 節代 様
・ 梅本 妙子 様	・ 藤本 美紀 様
・ 上入 佐智美 様	・ 清田 すま子 様
・ 古閑 靖浩 様	・ 後藤 裕司 様
・ 田上 恵子 様	・ 藤田 孝志 様
・ 光永 順子 様	・ 三上 貴宏 様
・ 守田 勝之 様	・ 山口 静美 様
・ 横田 たか子 様	・ 渡辺 昭子 様
・ ほつこりの里 様	・ すまいる 様
・ 日清医療食品(株) 様	
・ 徳治会歯科医院合志 様	
・ (株)アールエスエス 様	
・ 松橋西支援学校 様	
【ボランティア】	
・ トキコロ 様	・ カモメ 様
・ 丸山 典子 様	



誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

編集後記

『施設長より』で今年の抱負について触れていたため、自分も考えてみました。今年の抱負は、「ご縁を大切にします」です。昨年は、新しい出会いや別れが多く、人との繋がりに深く考えさせられた年でした。年齢を重ねるにつれ、日常生活を送る上で、誰しも人との繋がりが不可欠だと感じました。昨年よりもっとご縁を大切に、日々の生活を送りたいと思います。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

